

知識科学実習

発想法

第3回

石井・上保

前回までのおさらい

知識科学実習

<http://www.klis.tsukuba.ac.jp/knowledge/index.php?知識科学実習>

知識科学実習

知識科学実習 - Major in Knowledge Sciences

知識科学実習

知識科学実習

月日	内容	担当教員
4/16	オリエンテーション+グループディスカッション(1)	全張・武者小路
4/23	グループディスカッション(2)	武者小路・横山
4/30	グループディスカッション(3)	武者小路・横山
5/7	発想法(1)	石井・上保
5/14	発想法(2)	石井・上保
5/21	発想法(3)	石井・上保
5/28	専門情報実習(1)	岩澤・三波
6/4	専門情報実習(2)	岩澤・三波
6/11	専門情報実習(3)	岩澤・三波

発想法実習の目的

- 効果的なブレインストーミングの方法を学ぶ
- 何が集団の創造的思考を妨げるのかを学ぶ
- 自分にあったブレインストーミングの方法を知る

石井先生から

- ただやるだけじゃダメなんだぞ！
- 実習を元に、レポート、就活、卒研、さらに社会に出てからも、ブレインストーミングを自然に使えるようになることが大事！
- ブレストを身につける・体得する

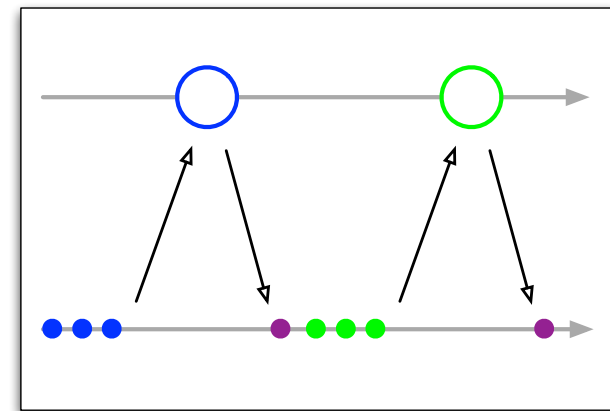
実習でやるブレスト

- 3種類（それぞれに利点・欠点がある）
 - アナーキー型ブレスト（5月7日）
 - ルール型ブレスト（5月14日）
 - ノート型ブレスト（5月21日）

ルールのまとめ

- 自由奔放
- 質より量
- 評価しない
- 相乗りする

相乗りの流れ



問題点と論点について

- 問題点の発想と論点の発想は似ているようで少し異なる
 - 問題点：学食の値段が高い
 - 論点：学生にとっての財政問題
- 問題点から論点へ発展出来るとより幅広い発想につながる
 - 学生にとって他の財政問題は？

ファセットについて

- ファセットとはものごとの側面のこと
- 前はものごとの上位・下位概念に着目して発想を広げた
- ファセットを使うと、ものごとの横のつながりに着目して発想できる
 - 財政問題と雇用問題の共通ファセットは？

前回までの集計結果

アイデアの数 (第1回)

グループID	アイデア総数	重複なし総数	スターアイデア
A	77	56	4
B	45	40	8
C	44	22	4
D	36	23	6
E	33	32	8
F	42	35	5
平均	46	35	6
標準偏差	16	13	2

アイデアの数 (第2回)

グループID	アイデア総数	重複なし総数	スターアイデア
A	69	41	3
B	93	57	12
C	84	65	11
D	52	21	7
E	42	37	10
F	80	60	8
平均	70	47	9
標準偏差	20	17	3

ノート型ブレスト

ノート型ブレスト

- すぐにはアイデアを出し合わない
- まずテーマについて一人でじっくり考え、アイデアをノートに書き出す
- その後個々のアイデアを共有し、グループで発想を続ける

ノート型ブレスト (続き)

1. 一人ブレスト (15分)
2. アイデアの共有 (~5分)
3. グループブレスト (~25分)

前回の4つのルールを忘れずに!

それではやってみよう！

ここからの流れ

1. イントロ (15分) ← 今ここ
2. プレスト準備 (5分)
3. プレスト実施 (45分)
4. 質問票記入 (10分)
5. 休憩 (15分)
6. アイディア集計 (15分)
7. グループ発表準備 (10分)
8. グループ発表 (各グループ5分、計30分)
9. 関連する理論について (10分) ← 追加
10. レポートについて (10分) ← 追加

準備手順

1. グループに分かれる
 - 机、椅子、ホワイトボードを用意する
 - **自分用のノート・筆記用具も用意する**
2. 書記を決める
 - ホワイトボードにアイディアを書く役
 - テーマが提示されたらそれも書く
3. 合図を待ってプレストを始める (45分)
 1. **最初の15分は一人でアイディアを出す**
 2. **その後グループでの作業に移る**

質問票の記入方法

- 学籍番号、名前、グループ名を忘れずに
- アイディアの集計結果は飛ばす
- 今回の経験を元に質問に答える
 - 設問文が自分の体験にどの程度当てはまるか
- 上手くいった部分、いかなかった部分

アイデアの集計

1. 集まったアイデアの総数を記録する
2. ほぼ同じ内容のアイデアの片方に横線を引く（消さない!）
3. 残ったアイデアの数を記録する
4. みんなで特に良かったスターアイデアを決め、その数を記録する

グループ発表準備

- 発表者を決める
- どのように進化したか
- スターアイデアの例
- 上手くいった点・工夫した点
- 上手くいかなかった点・改良案

グループ発表

集団での発想に関する理論

集団作業の能率と生産性

- 一般には集団作業は個別作業の集合より能率や生産性が高いと思われている
- しかし必ずしもそうとは限らない
- 何故か？
 - 集団での作業を妨げる要因がある

思考の干渉

- 人は思考を深化させるためにはノイズを遮断する必要がある
- 議論やディスカッションをやりながら思考を深化させるのは難しい
- 思考が邪魔される

集団思考 (Groupthink)

- 多様な発想が理想である時に、誰かのアイデアに方向性が定まってしまう
- 少数派でいることを嫌い、多数派のアイデアに偏ってしまう
- 外部の考えを遮断してしまう

社会的手抜き

- 集団作業において、自分だけサボってもバレ（影響）ないだろう、という考えが働くこと
- 意識的にやる場合もあれば、無意識的に起こる場合もある

理論のまとめ

- 集団作業を妨げる要因がある
 - 思考の干渉
 - 集団思考 (Groupthink)
 - 社会的手抜き
- みなさんの体験はどうでしたか？
 - 客観的に自分の体験を省みてください

レポートについて

レポートの構成

- 表紙：実習名・名前・学籍番号
- 本文：A4 2~3枚
- 添付：アイディアリスト（様式自由）
- 締切：**2010年5月27日（木）午後5時**
- 提出先：学務のレポート提出BOX

本文の構成

1. ブレスト3手法の利点・欠点（必須）
 - 必ず自分の体験談を例として使い説明する
 - 箇条書きはダメ
 - 利点・欠点をバランスよく議論する
2. 自分に一番あった手法とその理由（必須）
 - 自分の思考傾向と照らし合わせて具体的に書く

本文の構成（続き）

3. 発想法について学んだこと（必須）

- 学んだことで特に重要なことは何か
- それを今後自分の人生にどう活かしていくか
- 出来る限り具体的に書く

4. その他（任意）

- 発想法の実習に関する何を何でも

来週の主専攻実習は

7A208

に戻ります